

公開シンポジウム

園芸植物の多様な香りと それを活かす取り組み

来る9月15～17日に島根大学で開催される一般社団法人園芸学会令和元年度秋季大会において、下記の課題によりシンポジウムが開催されます。いずれも公開シンポジウムで、学会員以外の方も参加できます(参加費無料)。最先端の園芸学研究について広く知っていただく良い機会ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

日時

令和元年 **9月15日** 日
13時30分～17時

場所

島根大学 松江キャンパス
教育学部棟 3F 35番教室
(〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060)

キャンパスマップ 

コンビナー

大久保直美 (農研機構野菜花き部門)

1. 園芸植物を例にした香気成分生成メカニズム
飯島 陽子 (神奈川工科大)
2. 和種ハッカの香りが持つデオドラント効果について
妙田 貴生 (東京農業大)
3. 香料基原となる植物の香気分析
服部 雄飛 (三栄源エフ・エフ・アイ㈱)
4. 香りを活かした花きの販売戦略
大久保直美 (農研機構野菜花き部門)
5. 採れたて果実の香りと飲食時の香り分析を活かした香料開発
堀内 政宏 (高田香料㈱)
6. ユズの香りとその利用
沢村 正義 (馬路村農協・高知大名誉教授)
7. 総合討論

※本シンポジウムは、科研費 研究成果公开发表(B)
19HP0017の助成を受けたものです。

参加費
無料

問い合わせ先 **園芸学会秋季大会事務局**

TEL: 0852-34-1817 E-mail: autumn2019@jshs.jp

主催: 一般社団法人園芸学会 協力: 島根大学、島根県農業技術センター